

週間火山概況（平成 25 年 3 月 22 日～3 月 28 日）

【火山現象に関する警報及び予報の発表状況】

いずれの火山についても、噴火に関する予報警報事項（警戒が必要な事項）に変更はありません。

表 1 火山現象に関する警報及び予報の発表履歴（3 月 22 日～3 月 28 日）

発表日時	火山名	警報・予報	概 要
毎日 07 時、17 時	三宅島	火山ガス予報	島内の火山ガスの分布予想

表 2 3 月 28 日現在の噴火警報・予報の発表状況

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	霧島山(新燃岳)、桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	三宅島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山(御鉢)、薩摩硫黄島、口永良部島
	平常	上記以外の活火山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中。



図 1 噴火警報及び火山現象に関する海上警報を発表中の火山（3 月 28 日現在）

この資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）にも掲載しています。

【警報発表中の火山の活動状況及び警報事項】

三宅島 みやけじま【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

今期間、噴煙高度は、火口縁上100～200mで経過しました。

火山性地震は、やや少ない状態で経過しましたが、27日20時53分頃に山頂付近を震源とする比較的振幅の大きい火山性地震が発生し、三宅村神着で震度1を観測しました。地震発生時の噴煙の状況や空振計、地殻変動等の観測データに特段の変化は認められませんでした。三宅島で火山性地震により震度1以上を観測したのは、2013年1月22日（震度1：三宅村神着、三宅村役場臨時庁舎）以来です。

22日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり300トン（前回3月7日、400トン）とやや少ない状況でした。

三宅村によると、山麓ではまれにやや高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

山頂火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に警戒してください。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では、火山ガスに警戒してください。

硫黄島 いおうとう【火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、火山性地震は少ない状態で経過しました。

国土地理院の観測によると、地殻変動はほぼ停滞していましたが、2013年1月頃から、わずかに隆起の傾向がみられています。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、2012年4月末に新たに噴気が確認された島北部や変色水がみられた北東沖、従来から小規模な噴火がみられていた島東部の海岸付近、島西部（旧噴火口等）及び南東沖（翁浜沖）では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場 ふくとくおか の ば【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

26日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、福德岡ノ場付近の海面に火山活動によるとみられる湧出点付近において、幅約500m、長さ約1,500m程度の帯状の乳白色、薄青色、薄緑色の変色水が確認されました。

これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁による上空からの観測でも、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されており、今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

霧島山 きりしまやま（新燃岳） しんもろだけ【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

新燃岳では今期間、噴火は発生しませんでした。

火山性地震は少ない状態で経過し、火山性微動は観測されませんでした。

傾斜計¹⁾では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。

新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張は、2011年12月以降鈍化・停滞しています。国土地理院の地殻変動観測結果によると、2012年5月頃からわずかに地盤の縮みの傾向がみられていましたが、2012年9月頃から停滞しています。

しかし、火口には高温の溶岩が溜まっており、火口直下の火山性地震もやや増加していることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石²⁾（火山れき³⁾）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。噴火警報や霧島山上空の風情報に留意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒してください。降雨に関する情報に留意してください。

桜島 さくらじま【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

桜島では、活発な噴火活動が続いています。

昭和火口では、爆発的噴火が4回発生し、大きな噴石²⁾が4合目（昭和火口より800～1,300m）まで達しました。

南岳山頂火口では、噴火の発生はありませんでした。

火山性地震は少ない状態で経過し、噴火に伴う火山性微動が時々発生しました。25日に実施した現地調

査では、二酸化硫黄の放出量は1日あたり2,800トン（前回2月21日、1,900トン）と多い状況でした。国土地理院の地殻変動観測結果によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）深部の膨張は2012年11月頃から停滞しているように見えますが、一部の基線ではわずかながら伸びの傾向が続いています。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾（火山れき³⁾）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

また、降雨時には土石流に注意してください。

【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳火口では今期間、爆発的な噴火はありませんでしたが、長期にわたり噴火を繰り返しています。同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を観測しました。

火山性地震は少ない状態で経過しました。火山性微動が引き続き連続して発生しています。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石²⁾に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石²⁾が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

【噴火予報発表中の火山の活動状況及び予報事項】

上記以外の火山では、期間中、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。
- 2) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって到達範囲が大きく異なります。本文中「大きな噴石」とは「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とはそれより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことです。
- 3) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現しています。

注) 本資料は速報的な内容を含みます。データについては精査により、後日修正することがあります。詳細については、毎月発表の火山活動解説資料を参照してください。

http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.htm

【参考】 噴火警報・予報と噴火警戒レベル等の対応表

噴火警戒レベル対象火山		噴火警戒レベル対象外の火山
噴火警戒レベル（キーワード）	警報・予報	警戒事項等（キーワード）
レベル5（避難）	噴火警報	居住地域嚴重警戒 または山麓嚴重警戒*
レベル4（避難準備）		入山危険
レベル3（入山規制）	火口周辺警報	火口周辺危険
レベル2（火口周辺規制）		平常
レベル1（平常）	噴火予報	

*居住地域が不明確な場合

海底火山については、噴火警報（周辺海域）（キーワード：周辺海域警戒）と噴火予報（キーワード：平常）で発表します。